

〔平成24年度 伊勢市下水道事業会計決算の概要〕

本年度の下水道事業は、汚水処理事業として平成22年度から着手した流域関連公共下水道事業の第3期事業において、汚水幹線築造及び管渠の面整備工事等を行いました。宇治・中村特定環境保全公共下水道事業では公共汚水ますの設置工事を行いました。

雨水対策事業としては、雨水管渠の築造を行うとともに、ポンプ場の機械設備改築工事等を行いました。

維持管理業務においては、汚水処理場や雨水ポンプ場の適正管理を行うとともに、供用区域の水洗化に向けた地元説明会の開催や戸別訪問等による普及啓発に努めました。

1. 経営成績 (単位：千円)

区 分	金 額
収益的収入	2,379,483
収益的支出	2,371,928
当年度利益	7,555
前年度繰越欠損金()	399,556
当年度未処理欠損金()	392,001

議会の議決により、資本剰余金 5,696 千円を取り崩して除却損の補填を行った結果、未処理欠損金は 386,305 千円となりました。

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	68,055,974	負 債	658,774
固定資産	65,413,414	固定負債	28,766
流動資産	2,642,560	流動負債	630,008
		資 本 金	36,141,369
		自己資本金	5,566,386
		借入資本金	30,574,983
		剰 余 金	31,255,831
		資本剰余金	31,647,832
		欠損金()	392,001
合 計	68,055,974	合 計	68,055,974

2. 業務量の概要

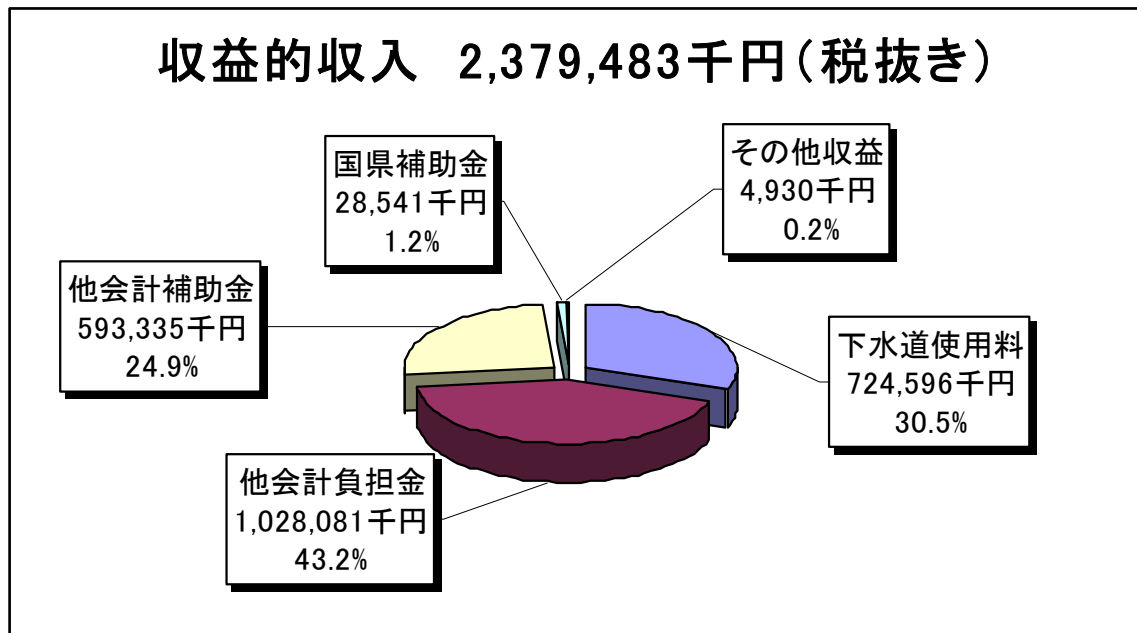
項 目	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増・()減	比 率
行政区域内人口 A 人	132,058	132,899	841	99.4%
処理区域面積 ha	1,413.1	1,372.9	40.2	102.9%
污水管渠布設延長 m	340,017	325,951	14,066	104.3%
処理区域内戸数 戸	22,656	21,804	852	103.9%
処理区域内人口 B 人	56,354	54,767	1,587	102.9%
水洗化戸数 戸	16,561	15,652	909	105.8%
水洗化人口 C 人	41,042	39,107	1,935	104.9%
普及率 B / A %	42.7	41.2	1.5	-
水洗化率 C / B %	72.8	71.4	1.4	-
処理水量 D m ³ /年	4,934,282	4,794,593	139,689	102.9%
有収水量 E m ³ /年	4,890,777	4,591,805	298,972	106.5%
有収率 E / D %	99.1	95.8	3.3	-
雨水管渠布設延長 m	12,131	10,517	1,614	115.3%
ポンプ場稼動時間 H/年	1,316.2	1,102.8	213.4	119.4%

[下水道事業の収支]

1. 収益的収支

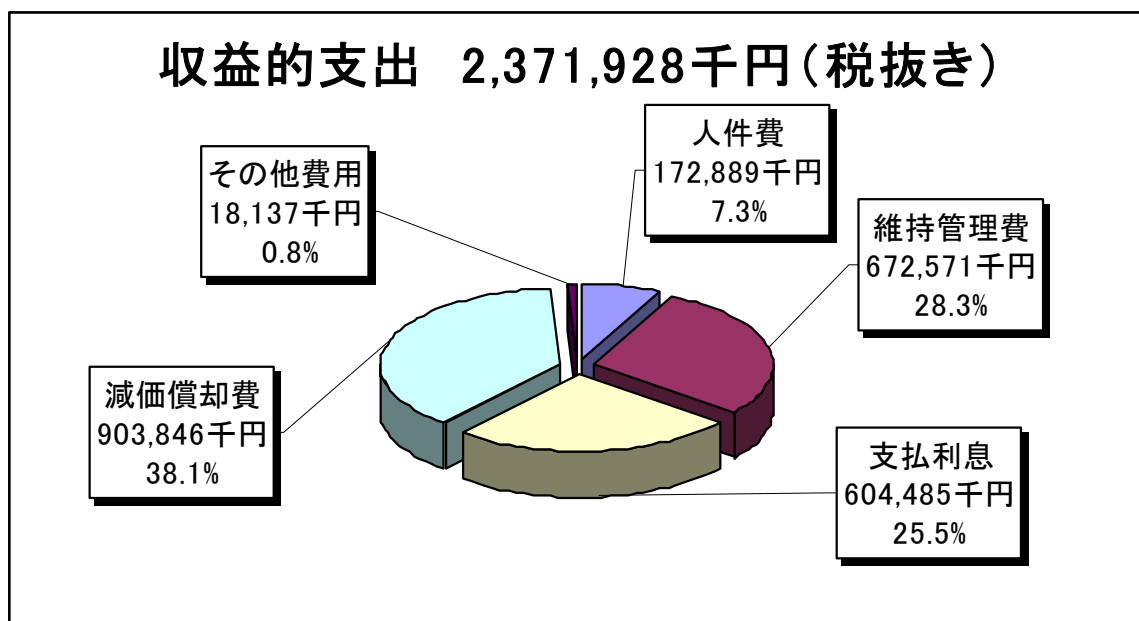
収益的収入

施設の維持管理費等下水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく下水道使用料や一般会計繰入金（他会計負担金、他会計補助金）、国県補助金等で構成しています。



収益的支出

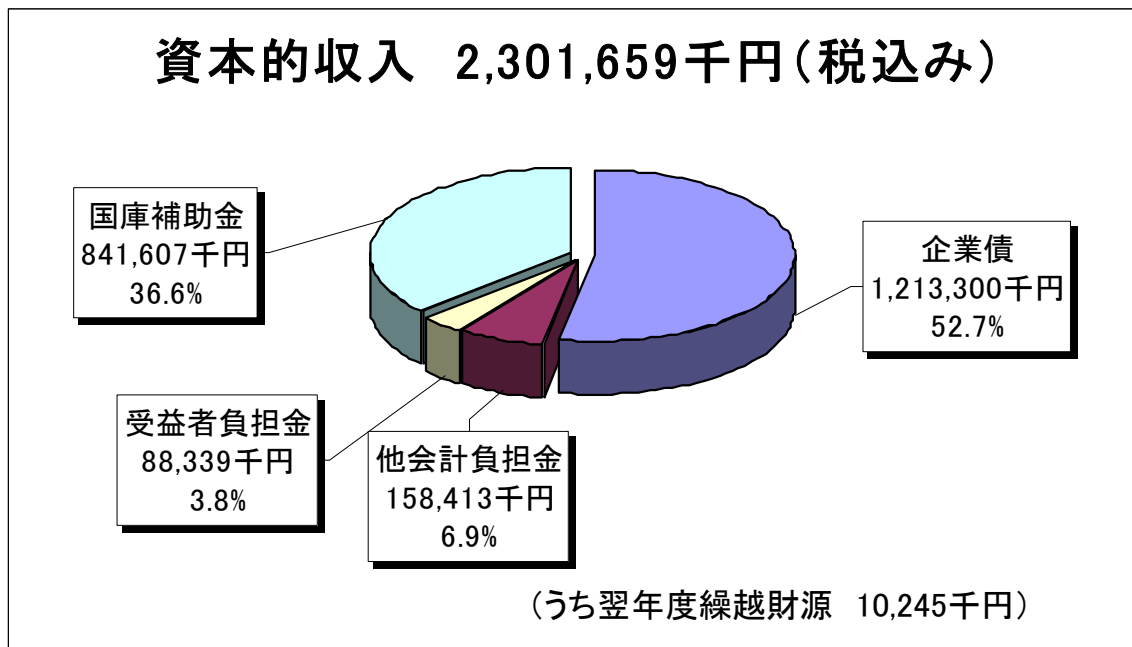
下水道使用料、一般会計繰入金等（収益的収入）を財源として、下水道事業を運営していくために必要な経費。施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

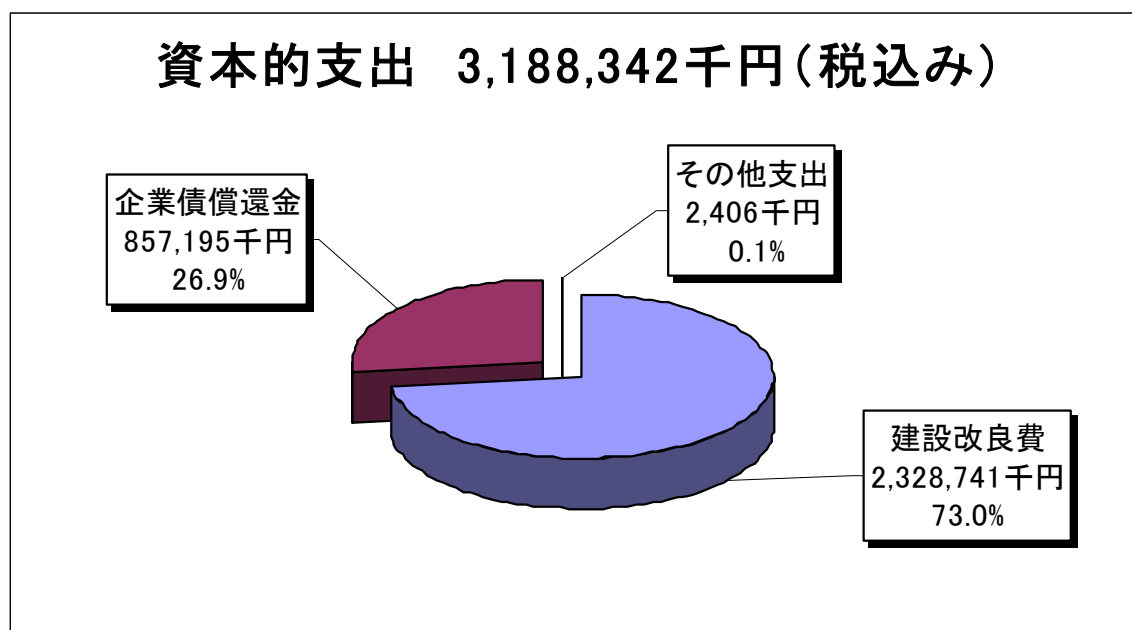
資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金（資本的支出）の財源。企業債、一般会計繰入金（他会計負担金）、受益者負担金、国庫補助金で構成しています。



資本的支出

企業債や国庫補助金、受益者負担金等（資本的収入）を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金等で構成しています。



資本的収入額（翌年度繰越財源 10,245 千円を除く。）が資本的支出額に不足する額 896,928 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 52,652 千円、繰越工事資金 25,467 千円、過年度分損益勘定留保資金 818,809 千円で補填しました。